

## 今週（5月23日から5月27日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の無担保コールO/Nは、当座預金残高は280兆円台で推移する中、週を通してマイナス圏での落ち着いた取引に終始した。無担保コールO/N加重平均レートは、積み期の前半ということで取り手が限られていたものの、▲0.03%でまとまった金額を調達する先が見られる中、徐々に上昇していった。ターム物に関しては証券業態のロール案件が見られた程度で、散発的な出会いであった。

固定金利方式の共通担保資金供給オペは26日に2W・8,000億円でオファーされた。直近の2回ほどは期落ち額よりも応札額が増えていたものの、今回は落札額2,500億円と期落ち額（3M物740億円、2W物2,830億円）を下回った。

### ●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.105～▲0.080%程度の水準で推移した。23日～25日までのS/Nは▲0.090～▲0.085%近辺でのビッドが厚く、その水準を中心に狭いレンジでの引合いが多く見られた。26日のS/N(5/30-5/31)は、短国3M物の発行要因から▲0.085～▲0.075%程度までレートを切り上げた。27日のS/N(5/31-6/1)は、短国・利国の買入オペが通知されたことに加え、月末初取引となることからオファーが出難く、▲0.105～▲0.100%まで買い進まれた。

SC個別銘柄では、10Y336～342、20Y152～156、30Y48～50、40Y8などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。特に、40Y8回債は週を通じて品薄感が強かった。

### ●短国市場

今週の短国市場は、海外勢やオペ見合いとみられる積極的な買いが見られる中、堅調に推移した。週を通して3Mゾーンで▲0.286～▲0.265%の出会いが見られた。また、短国買入オペを控えて1Y物が一時▲0.395%まで買い進まれる場面も見られた。

26日には3M物の入札が実施された。WI取引で▲0.270～▲0.260%の出会いが見られ、結果は平均落札利回▲0.2729%、按分落札利回▲0.2605%（按分比率4.0345%）と過去最低利回を大幅に更新した。セカンダリーでは▲0.300～▲0.276%と堅調に推移した。27日は短国買入オペが2兆円でオファーされ、平均利回較差+0.001%、按分利回較差▲0.010%（按分比率69.3%）と良好な需給を反映した結果となった。

### ●CP市場

今週のCP市場は、月末発行を中心に鉄鋼・石油・不動産・建設・機械などの幅広い業態からまとまった発行案件が実施された。週間償還総額1兆500億円程度に対し、週間発行総額1兆5,000億円程度と、発行超となった。発行レートは概ね0%近辺での出会いが多かったものの、18日実施分のCP買入オペの按分落札利回が▲0.001%まで上昇した影響からか、一部の銘柄で小幅上昇する動きもみられた。

26日に実施されたCP等買入オペは当初の予定より500億円増額の4,500億円でオファーされ、平均落札利回▲0.004%、按分落札利回▲0.014%（按分比率48.8%）という結果となった。応札可能な銘柄が少なくオファー額も増加したためか、6回振りにレートが低下した。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
5/23（月）	16,654.60	△ 0.105	109.80	△ 0.057	△ 0.080	2,783,600
5/24（火）	16,498.76	△ 0.110	109.28	△ 0.055	△ 0.082	2,825,800
5/25（水）	16,757.35	△ 0.101	110.15	△ 0.055	△ 0.086	2,830,600
5/26（木）	16,772.46	△ 0.115	109.70	△ 0.054	△ 0.091	2,837,000
5/27（金）	16,834.84	△ 0.120	109.90	△ 0.049	△ 0.081	2,849,100

# 来週（5月30日から6月3日）の短期金融市場動向

## ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/30 (月)	4月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)				米国祝日 (Memorial Day) 英国祝日 (Spring Bank Holiday)
5/31 (火)	4月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 4月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 4月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 4月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 4月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	2Y 23,000億円 6/15発行			3月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 4月の米個人所得・消費支出 5月の米CB消費者信頼感指数 5月のシカゴPM景況感指数 5月のユーロ圏消費者物価指数速報値
6/1 (水)	1-3月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)	交付税借入 10,500億円 6/10借入			米ページブック 4月の米建設支出 5月のISM 製造業景況指数
6/2 (木)	釧路市金融経済懇談会にて佐藤審議委員講演 5月のマネタリーベース(日銀 8:50) 5月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	TB3M 44,000億円 6/6発行	10Y 24,000億円 6/20発行		ECB定例理事会(金融政策発表)
6/3 (金)	6月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 4月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 9:00)				4月の米貿易収支 4月の米製造業新規受注・出荷・在庫 5月の米雇用統計 5月のISM 非製造業景況指数

## ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/30 (月)	600	2,100	2,700	全店共通 CP買入 社債買入 国債補完	▲ 3,600 ▲ 400 ▲ 100 200	2,500	▲ 1,400	1,300	TB3M発行▲44000償還45300 40Y発行▲4000
5/31 (火)	▲ 400	3,800	3,400	CP買入 国債買入 短国買入		4,500 4,600 20,000	29,100	32,500	
6/1 (水)	1,000	▲ 12,000	▲ 11,000				0	▲ 11,000	機関貸付回収
6/2 (木)	0	▲ 30,000	▲ 30,000				0	▲ 30,000	普通交付税 年金保険料揚げ 法人税・消費税揚げ
6/3 (金)	0	3,000	3,000	成長基盤	▲ 2,200		▲ 2,200	800	交付税借入▲10500期日10500
週間合計	1,200	▲ 33,100	▲ 31,900	—	▲ 6,100	31,600	25,500	▲ 6,400	

5/30は日銀予想、5/31以降は当社予想

## ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は1日に財政融資資金回収、2日は保険料揚げ・税揚げ、普通交付税交付金による不足日と予想される。資金需給の不足傾向が続く中、若干のレート上昇も予想される。

短国市場は、2日に3M物の入札が予定されている。6月に入り、短国買入オペが減少することが見込まれるため、横ばい圏で推移すると予想される。

CP市場は26日のオペ結果を受け、発行レートに変動があるかどうか注目される。

主要なイベントとしては31日のユーロ圏CPI速報値、1日のページブック、2日のECB定例理事会、3日の5月の米雇用統計が挙げられる。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。